

### 君の椅子2019モデル発表会



なままと誕生日、そしてシリアルナンバーが刻まれた世界に一つだけの「君の椅子」は、町内で誕生した赤ちゃんに贈る、新しい生命の居場所の象徴。毎年デザインが変わります。

4月17日、道立旭川美術館にて「君の椅子2019モデル発表会」を行い、安井結羽(ゆいは)ちゃん(今年2月生まれ)に第一号をプレゼントしました。父・亮さん、母・絵梨奈さんと一緒に出席したお兄ちゃんの創馬くん(小1)が結羽ちゃんの代わりに松岡町長から椅子を受け取りました。

東川から始まった「君の椅子プロジェクト」に賛同する自治体は、剣淵町、愛別町、東神楽町、中川町、長野県売木(うるぎ)村、福島県葛尾(かつらお)村の7町村に広がりました。2019年モデルのデザインはスウェーデンのインテリア家具デザイナー

ナー、ステュレ・エング氏。作り手は家具工房「木魂(こだま)」の服部勇三さん。ステュレ氏にデザインをオファーした中村昇さん(フアニチュアー・デザイン・ナツカ代表)によれば、氏は君の椅子プロジェクトのことをオファー前から知っており、自分に依頼が来るのを心待ちにしていたようだとのこと。そんなステュレ氏のデ

### 2つのイースターパーティー

4月13日に「めだかのクラブ」でイースターパーティーを開催し、幼児と小学生82名が参加しました(改善センターにて。主催・教育委員会)。卵型のお菓子を採す「エッグハント」、箒を使って卵型のボールをウサギ型の箱に入れる「フアニーバニーボックス」など、イースター復活祭における生命の象徴であるタマゴやウサギをモチーフにした10種類の遊びをしました。



お菓子見つけた♪エッグハント

4月14日は保健福祉センター・調理室でラトビアのイースター祭りを開催(主催・交流促進課)。CIRのクリスタさんが「イースターでブランコに乗らないと夏に虫に刺される」「イースターエッグは塩をかけて食べないと1年間ウ



卵に素材を貼り付け(ラトビアのイースター祭り)

ね! 14日は保健福祉センター・調理室でラトビアのイースター祭りを開催(主催・交流促進課)。CIRのクリスタさんが「イースターでブランコに乗らないと夏に虫に刺される」「イースターエッグは塩をかけて食べないと1年間ウ

の模様や色が出てきます。完成品で「エッグファイト」(卵同士をぶつけて勝負)をし、割れた卵はしつかり塩を振って食べました。交流促進課では今後もCIRトーク(今回は6月予定)や外国文化に触れられるイベントを行います。

### サハリン・アニワ市から初の交流高校生

ロシア・サハリン州アニワ市の高校生が4泊5日で初めて東川町を訪れ、町立日本語学校の授業体験、東川小学校を見学しました。東川中生との交流会、東川高生と一緒に茶道、日本舞踊体験、旭岳ではスノーシューを履いて雪山ウォーキングも体験し、初めての東川を満喫しました。



昨年11月、松岡市町長ら10人が同市を初訪問し、教育、文化に関する交流を始めることに。アニワ市からの初来訪団として、第1学校から第5学校まで5校(日本の公立高校に相当)の2年生生徒代表1人ずつと、引率のザイツェヴァ・アリョナ第1学校教頭(42)ら6人が来町しました。

歓迎交流会で東川中学校吹奏楽部の生徒が踊りながら演奏するプレー&ダンスを見た一行は、「中学生であんな演奏が出来るなんて!」「ロシアでは音楽専門学校でなければ吹奏楽はない」とびっくり。東川小学校と棟続きの地域交流センターでは、ドアと仕切り壁のない学校

貸し出し用クロスカントリースキーが並んでいる交流センター、野球場、夜間照明付きの人工芝サッカー場などを見て「東川町で勉強したい」「将来は東川町の国際交流員になりたい」などという感想も。「教育は無料?」「小中学生は何科目?」「給食は先生と生徒が同じ場所で同じ時間に食べますか?」と質問が相次ぎました。今後は東川からも高校生がアニワ市を訪問するなど、双方の交流を進めていきます。

### 旭岡高JAZZ部が町内初のジャズコンサート

3月30日、道立旭川南高校JAZZ部(鈴木美咲部長)が文化ギャラリーで町内初のミニコンサートを開きました。

昨年12月、ひがしかわ写真少年団(鈴木玖徳団長)が同部の活動ぶりを撮影することになり、さ



らに初めてのミニコンサートが実現しました。同部員の保護者の一人が写真の町実行委員会の企画委員をしていることがきっかけでした。部員20人中、男子生徒はわずか1人。この日出演した16人は全員女子生

### 浅井憲二作品展でオープニングトーク

4月12日、せんとびゅあー・ギャラリーにて浅井憲二作品展「イキノアリカ」のオープニングトークを行いました。浅井さんは札幌市在住の鉄彫刻家。せんとびゅあーのスクールバス乗り場前にある作品『大雪からの便り』(鹿とリスを象った鉄のオブジェ)をご存知の方も多いたのではないのでしょうか。



ばかり。「360度から見てほしい」との言葉どおり、見るほどに発見があるかも。壁や床に投影された影にも注目してみてください。

浅井さんが東川町で作品展を開催するのは今回が初。ダイナミックに羽ばたくふくろうや、「何か」が飛び出している卵など、想像力を刺激する作品

約1年前より浅井さんの作品と製作風景を撮影している写真家の井上浩二さん(札幌市)が「製作中の姿がカッコイイ」と語るとおり、同時展示している写真作品には真剣な表情の浅井さんが写し出されています。同作品展はせんとびゅあー・ギャラリーにて、5月6日(月)まで開催しています(入場無料)。

徒で、さながら女性ジャズビッグバンド。テナー、アルト、ソプラノサクソ、トランペット、トロンボーン、ブラスセクションを中心に、50〜60年代アメリカンジャズの名曲11曲を披露しました。いわゆるメインストリームジャズ全盛といわれていた当時青春時代だった来場者も多く、「ムーンライトセレナーデ」など次々と登場する名曲に聴き入っていました。